









大麦の適期収穫チャート

主要穀類等指導指針（第9版）より

収穫適期チャートの使用方法

1. 圃場全体の対角線上の3カ所から無作為に、穂を1カ所5本（合計15本）程度抜き取る。
2. 抜き取った穂を緑色の薄い順に並べる。並べた穂の6番目から10番目の穂（5穂）を判断の材料とする。
3. 選んだ5つの穂の粒を、縦1列掻き取り、穂の外観（穂軸の色・付いている粒の色）をカラーチャートと比べる。
4. 3で利用した穂からすべての粒を掻き落とし、粒の外観をカラーチャートと比べる。
5. 3、4で穂の外観と、粒の外観を判断し刈り取りまでの日数を判断する。

※圃場内で成熟の差が大きい場合は抜き取りの位置を増やし上記の手順で判断する。
（品種名シュンライ）

刈取り適期 までの日数	刈り取り判断の基準	穂の状態	粒の状態
-10日～ -7日	穀粒含水率：50% 穂の外観：芒の先が黄色を帯びてくる。穂の頂部の粒は緑色が抜け始める。穂軸は緑色を呈する。粒の外観：緑色がやや抜ける。		
刈取り直前 -5日～ -3日	穀粒含水率：40% 穂の外観：緑色はほとんど抜け、穂の基部のみに残る。穂首には緑色が残る。粒の外観：約3割の粒に緑色が残る。登熟の遅いものはまだ軟らかく、手でつぶせる。		
刈取り適期 0日～ (成熟期) +4日	穀粒含水率：20～30% 穂の外観：全て緑色が抜け、湾曲する穂が散見される。粒の外観：一部に緑色が残るものもあるが、登熟が進み、粒は硬くなる。穂の基部の粒は爪で傷が付く程度。		
刈遅れ +5日～	穀粒含水率：20%未満 穂の外観：全体に白っぽくなり、穂の湾曲が目立つようになる。粒の外観：粒にしわが目立つようになり、黄化し萎縮する。粒は硬くなり、爪では傷が付かない。		

大麦の適期収穫チャート（試験して得られた技術事項、2003年3月、平成14年第2回普及技術検討会承認、上伊那農業改良普及センター・農業技術課）より作成